## 出張セミナー in ヒロシマ

## 広島県赤十字血液センターにて、セミナーを開催しました。



日時:平成30年7月21日(土) 13時半-16時半

場所:広島県赤十字血液センター 2階研修室

参加者 71 名:血液内科医師 5 名 小児科医師 1 名 看護師 62 名 看護師 62 名 HCTC(専任 1・看護師兼任 2)3 名 理学療法士 1 名 事務職員 1 名

参加施設 4 施設:広島赤十字・原爆病院 49 名 広島大学病院 7 名 中国中央病院 5 名 山口大学病院 9 名

このたび、広島赤十字・原爆病院の医師と、当院への受入研修にご参加いただいた 看護師さんと連絡を取り合い、地域の方にも拠点セミナーへご参加いただけるよう 広島へ出向いて行う出張セミナーを開催しました。

豪雨の影響により開催自体をどうするか検討もしましたが、広島日赤の看護師さんをはじめ、参加者の方が楽しみにされていること、2週間経って交通事情も回復しつつあったため行いました。被災後初のセミナーにも関わらず、予想外に多くお申込みをいただき、机が足らない状況でしたが、大盛況のセミナーとなりました。

テーマは、移植患者さまの健康的な社会復帰を目指した内容として、移植後合併症、LTFU 外来について、当院医師、中国中央病院医師による講演を行いました。また、看護師に必要なこととして、国立がん研究センター東病院 近藤美紀先生に特別講演をしていただきました。

はじめに、当院血液内科・松岡賢市医師より、「移植後合併症と GVHD」について同種移植サバイバーはがんサバイバーと比べて、より多くの晩期合併症を持つことを取り上げ、移植に習熟した医療者による同種移植サバイバーを支える仕組み作りが必要であるとお伝えしました。

また、主な合併症のうちのひとつ、GVHDについて、急性と慢性はつながっていること、最初の入院中の細かいケアが退院後の長期的な QOLの維持にとても役立つことをお話し、参加者のみなさまも熱心にメモを取っておられました。



次に、中国中央病院 岡本幸代先生より、「医師から見た LTFU 外来」として、通常の外来診療では行われない検査や診察を行うことで、LTFU 外来は晩期合併症の予防や早期発見を行う役割を担っているとの説明がありました。

また、予防接種の推奨として、移植後の免疫回復、ワクチンのほか二次がんについて お話しがあり、ワクチン接種については質問が多く挙がりました。



最後に、特別講演として国立がん研究センター東病院 近藤美紀先生よりお話をしていただきました。「造血細胞移植後 自分らしく過ごしていただくために 看護師ができること、すべきこと」として、患者さまへの様々な支援や LTFU 外来について、具体的な例を挙げていただきました。特にケアに関しては、患者さまのことを考えてどの地域にもあるドラッグストアで買えるもの、安いものを勧めておられました。



そして、LTFU 外来に来られる遠方の患者さまのタイムスケジュールも例として挙げて、朝6時半に家を出て、検査時間、診療時間も延びたと仮定した場合、帰宅は夕方過ぎといった一日仕事になることを話されました。その身体的・精神的負担のほか、高齢者の場合、付添の方の負担、経済的不安についても医療者が実際に明細を見るなどして、診療にかかる費用についても知り、患者さまの立場で考えることが大切であると熱くお話いただきました。参加者のみなさまからも、具体的な商品名を挙げていただき実践に活かせる内容だったという感想のほか、元気をもらえた、といった声を多くいただきました。

今回は質問時間を別に設け、あらかじめ質問紙を配布し、各講演への質問を書いていただいたところたくさんのご質問をいただき、各講師で振り分けて回答いたしました。







今回のセミナーについて、感想をたくさんいただきました。

- ・血液のセミナーはなかなかなく、看護師にも分かりやすくてよかった。
- ・日々の業務で移植の流れ、GVHD 症状など学んでいるつもりだが、改めて資料を見ながら講義をしていただき、勉強になった。
- ・LTFU 外来の意義を知り、患者さまとの関わりを考えなおすきっかけとなった。
- ・何の商品を使ったらいいのかなど、具体的な紹介があってとてもよかった。
- ・初心者でもわかりやすく、すぐに実践につながる話が聞けてとても勉強になった。
- ・岡山県外の病院の話が聞けてよかった。
- ・こころのケアは看護師が一番行いやすいことだが、日々の業務に追われて後になって しまいがちになっているので、明日から少し時間を取ってやっていきたい。
- ・移植が多い広島日赤のスタッフが多く参加できるチャンスをいただきよかった。
- ・岡山も近いが、まとまった時間が取れない時、どうしても都合が付かない時があるので 大変助かった。
- ・遠いと勤務の都合などで参加できないので、とてもよかった。

